年次レポート

2025－2026



社会福祉法人　調布を耕す会

ご挨拶

日頃より、当法人の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この一年も、メンバーのみなさんが安心して通い、自分らしく楽しく過ごし、持てる力を発揮できる場であろうと、職員一同支援を重ねてまいりました。人の動きが少なくない中で、働く場としての支援、生活の支援を通して、ご本人の思いを大切にしながら、日々の小さな成長や喜びをともに感じられる「場」となっているかと自問自答の 1 年でした。

法人経営に際しては、高齢化に伴う支援ニーズの多様化や人材確保、感染症対策、自然災害を含む安全管理など、年々増える課題に暗澹たる気持ちになりそうな所ですが、メンバーのみなさんの明るい笑顔と若手職員のエネルギー、ご家族や支える会のみな様の温かいご支援に支えられながら、一つひとつの課題と向き合い奮闘している最中です。

本レポートでは、この一年の事業の歩みと取り組みをご報告申し上げます。今後も、法人の想いである「地域の中で生き生きとゆたかにゆかいにゆうゆうと」を目指してゆっくりであっても誠実に歩みを進めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026 年 10 月

社会福祉法人調布を耕す会

しごと場大好き　施設長　亀田　良一郎

2025～2026

■写真で見るこの１年

■２０２５年度事業報告

Ⅰ．生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き国領」の運営……１
Ⅱ．就労継続支援Ｂ型「しごと場大好き」・ 出張所「カフェ大好き」の運営……５
Ⅲ．共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩ・ユニット「パンプキン」の運営……７
Ⅳ．その他の事業・活動……１０
Ⅴ．組織運営……１１
Ⅵ．その他プロジェクト……１１

■２０２５年度決算報告

・貸借対照表……１３
・資金収支計算書……１４
・事業活動計算書……１６

■２０２６年度事業計画　※2026 年 3 月 15 日理事会承認時点

Ⅰ．重点目標……１８
Ⅱ．生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き 国領」の運営……１８
Ⅲ．就労継続支援Ｂ型「しごと場大好き」・ 出張所「カフェ大好き」の運営……２２
Ⅳ．共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩの運営……２６
Ⅴ．共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩパンプキンの運営……２８
Ⅵ．その他の事業・活動……３０
Ⅶ．組織運営……３１

■２０２５年度予算

・予算内訳表……３２

◆資　料

１年間の活動日誌……３４
役員名簿……３７
地図……３８


みんなのしゃしんしゅう
しごと場大好き
2025～26

episode 1

Working





























episode 2

Events













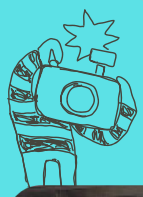












Say cheese!









episode 3

Our Pals



















episode 4

Daily Life

























zzz





Yeah
Yeah











episode 5

DAISUKI!

















社会福祉法人調布を耕す会　２０２５年度事業報告

Ⅰ　生活介護「しごと場　大好き」・分場「しごと場　大好き　国領」の運営

【生活介護「しごと場大好き」】

１．事業運営

今年度は生活介護拠点として単独で赤字決算となりました。これは、若手職員の待遇改善の目途で給与規定の改訂を行いベースアップを実施した事や雇用者の増加と残業手当等の増額等に伴う人件費増額、処遇改善手当の繰越額制限、見込み違いによる加算の返還等が要因となっています。新しいメンバーも２名加わり次年度は赤字解消見込みですが、分場の移転費用などを考えると安心できない所です。

また、６年に１度の指定更新がありました。これまで何も指摘されて来ませんでしたが、都の定員緩和措置の部分については災害などの特例措置との見解が示されたので国領の移転を機に定員変更を想定しています。他方、分場では年度後半に体調不良から分場を担っていた職員が退職することがあり態勢立て直しの為に経験豊富な職員２名を加える配置としました。経験のある職員が抜けて経験の浅い若い職員の比率が高くなる中で本場の安定した運営が懸念される面もありましたが、日々の実践の中で職員相互が誠実に取り組み目の前の課題を乗り越えながら徐々に安定した運営へと成長している様子が窺われています。

２．メンバー処遇

若く経験の浅い職員が増えましたが、他の介護事業所での経験豊かな職員と共に新しい職員もメンバーと向き合う姿勢を持って取り組んでくれていてメンバー全体に大きな変化は無く明るく和やかな様子は保たれていました。一方で個別支援計画と支援がリンクしていないケースや健康面での対処が多くなっている現状や高齢化や人数に対して適切な環境が提供できていない課題があります。物理的な床面積の増加による環境改善は経営的に簡単ではありませんが、物品や備品の使い方等で改善できる事があればどんどん取り組みたい所です。外せない仕事や職員配置が許せば現場レベルで必要と思われる作業内容の変更は徐々に行われていますが、適切な状況の把握や適切な記録、適切な伝達、より良い支援をする為にやはりメンバー毎の的確なデーターベースが必要と改めて感じられた１年でした。

（１）生活支援

日常の活動やリハビリを通して、利用者の心身の健康保持と機能の向上に努めました。

（２）創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動を行いました。

（３）ケース会議＊就労継続支援Ｂ型と合同開催

月１度の開催となりましたが、一体感を持って対象メンバーの行動の背景や対策について考察を深める良い機会となりました。

３．活動内容

（１）日常生活上の支援を提供

ＡＤＬ（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。ＳＴ、ＰＴ等専門職に関わっていただく中で日常の運動や補装具での改善が見られています。

（２）創作活動の機会の提供

陶芸、組みひもなど従来の創作活動に加えて、引き続き芸術活動の時間を設け絵画制作に取り組んでいます。調布パラアート展にも積極的に関わって多くの作品を出展しています。その展示がきっかけとなって調布パルコでのアートフェスへの参加や「無印良品調布店」「無印良品仙川店」での絵画展示となっています。

（3）簡易受託受注事業

封入封函、ポスティング等、単発の仕事もメンバーには向いている事も多く、引き続き積極的に取り組んでいます。

（4）その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践）

年間を通して、毎週月曜日に社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

②地域に根ざした活動（地域向けイベント／道路清掃／餅つき会／大好き市）

③受託事業（メール交換、散水清掃業務（駐輪場清掃）、クリーンセンター清掃、駅前清掃）

就労継続Ｂ型部門、国領と合わせ合同で取り組みました。メンバーはどの受託事業においても積極的に取り組み、それぞれに進歩が見られます。昨年始まった郵便物の回収業務に加えて調布てつみち内の花壇の保全事業も始まりました。

④音楽療法（社会体験活動内）

今年度も、講師を招いて音楽療法を年５回行いました。クラフト製作と音楽の２グループに分かれた入れ替え制は、すっかり定着したスタイルとなって引き続き良い活動が出来ています。

４．防災計画

就労継続Ｂ型部門と国領合同で防災訓練を年４回実施しました。

６月１６日　火災発生想定の避難誘導訓練　２階からの車いす利用者避難、*レスキューマットを用いた車イス利用者の搬送。参加５４名

１０月６日　総合防災訓練　ネット動画を視聴した防災学習会の後に地震による火災発生想定の避難誘導訓練　送迎訓練（帰宅困難を想定メンバー全員を職員が自宅まで送り届ける）参加６０名

３月１６日　避難訓練、消火訓練、引渡訓練　大地震発生想定の防災訓練、帰宅困難で家庭への通報から迎えを待つ引渡の訓練を実施。参加６１名

◇また、昨年度に続き家族との緊急連絡の習熟を図るために、ＮＴＴの「災害用伝言ダイヤル」を利用した通報訓練を奇数月の１５日に3回実施。

５．日　課

予定通りの日課を行いました。

６．苦情相談

規定対応案件はありませんでした。

７．第三者委員　＊就労継続Ｂ型と合同開催

伊藤委員の「お話聞きますよ」が実施されメンバーの悩み事が相談されました。

８．リスクマネジメント委員会

トラブル発生時に臨時のマネジメント委員会を年３回実施。

９・みんなを守ろう委員会（虐待、拘束防止委員会）　＊Ｂ型、グループホームと合同開催

昨年度からグループホームの虐待防止委員会と合同開催とし外部からも委員に参加していただき、

年４回の会議の他アンケート実施、分析、内部研修など虐待の芽を摘む取り組みを積極的に行っています。

１０．職員

これまでの反省を踏まえて人員配置的には過去最大の配置をとり人数的には余裕のある状況を作っていましたが、新しい経験の浅い職員の割合が増した事へのフォローが不十分だった事や　、職員個々の事情でなかなか予定人員が揃わない場面も多く余裕ある現場とは成りませんでしたが、職員間の連携、協力で何とか「大好き」の和やかさを維持しながら事故なく過ごす事が出来ました。また、今年も東京都の住宅借り上げ制度を利用して４名の対象者に補助金が支給されています。

１１．研修　　＊就労継続Ｂ型と合同実施

年間を通して研修の機会提供や推奨を行ってきたが、年間のスケジュールを示す事が出来なかった。例年の課題だが中々改善できない。サポカレや虐待防止委員会の内部研修は評判が良く職員に学ぶ意欲があるので出来るだけ定例の形で続けていきたい。ＯＪＴについてはスーパーバイザーが丁寧に良い対応をしてくれて大変助かった。今後に課題が残るが取り組み方を継承したい。

１２．運営資金

今年度は当初予定の給与改定に伴うベースアップの実施、人員配置を厚くする中での退職者の穴埋めの雇用やも同時に行われ処遇改善手当の繰越額制限、見込み違いによる加算の返還等幾つかの要素が重なって単独事業として大きな赤字が残る結果となりました。次年度はメンバーの増員と共に、臨時雇用へのシフト、重度支援加算の取得なども想定され黒字化が期待されます。

【生活介護　分場「しごと場大好き　国領」】

1. 事業運営

新体制としてスタートしたなかで、メンバー大きな影響も見られず、小規模ならではのアットホームで行き届いた支援の提供を引き継ぎつつ、活動の内容では音楽活動を取り入れるなど職員の得意分野を活かし、のびのびと順調な活動が送れていました。ただ、体調不良による年度末の職員１名の退職を踏まえ、しごと場大好き国領の運営の在り方の見直しを図り、１月より新たな体制への引継ぎを開始しました。また、昨年より出ていた２０２６年１２月までの国領の移転も控え、大きな変化となる今年度ですが、立て続いた職員の入れ代わりにも大きく戸惑う様子もなく、通所し活動に取り組めているメンバーの強さを感じながら、次年度は国領のならではの行き届いた関わりを通してメンバー各々の成長へと繋げられる支援を目指していきます。

2. メンバー処遇

年度後半に新しい体制となり環境が大きく変わりました。新しい職員と共に日々活動する状況となりましたが、個々に向き合い丁寧に支援する形は維持されたためか想定以上に落ち着いて体制変化に適応し特別な情緒の乱れも無く過ごしてくれました。個々の適応力の高さに驚かされます。今後は確かな信頼関係を構築しながら活動を通して新たな発見へと繋げていきたい所です。

3.支援内容

(1) 生活支援

日常の活動を通して利用者の心身の健康保持と生活機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者それぞれの特性や個性を活かした創作活動（紙すき・ミサンガ・シルクスクリーンなど）を提供しました。

4. 活動内容

(1)　日常生活上の支援を提供

ＡＤＬ（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、支援を通して身体能力や日常生活能力の維持向上に努めました。

(2)　創作活動の機会の提供

牛乳パックや排紙リサイクルの手すきコースター、外国のコインを使ったミサンガなどのアクセサリー、シルクスクリーンでプリントした手ぬぐいなどを制作し「カフェ大好き」やキッチンカー、創造農園さんのカフェ「空と大地と」、「総合福祉センター」にて販売も行いました。

(3)　簡易受託受注事業

しごと場大好きと分け合いながらポスティング等の仕事に積極的に取り組んできました。

(4)　その他の事業

① 社会体験活動

以前行っていたコミュニケーションの発展形として日々の感想や予定を伝え合う時間を設けてコミュニケーション方法を学んでいます。

② 地域に根差した活動

事業所周辺の道路清掃を行っており通りがかる近所の方々とコミュニケーションをとる機会にもなっています。

③ 運動

ＰＴ指導による運動、花見など季節を感じながらのウォーキング、公園にて積極的に遊具を活用するなどで心身を整えられるような取り組みをしました。定期的に体重測定を行っています。

④ 調理実習・みそ汁作り

毎週木曜日に調理実習を行い、それ以外の曜日も毎日みそ汁作りをしています。メニューはメンバー会議で決めた内容で今年度は家庭でも作りやすいメニューを心掛け、家での手伝いに繋がるような活動を意識しました。

5. 防災計画

しごと場大好きと合同開催

6. 日課

予定通りの日課を行いました。

7. 苦情相談

特別な相談はありませんでした。

8. 第三者委員

しごと場大好きの相談会に参加しています。

9. リスクマネジメント委員会

しごと場大好きと合同開催

10. みんなを守ろう委員会（虐待防止）

しごと場大好きと合同開催

11. 職員

基本２名の職員配置で職員状況によりしごと場大好きとの連携で職員間の移動を実施しました。

12. 研修

しごと場大好きと合同実施

13. 運営資金

しごと場大好き分場として運営しています

Ⅱ　就労継続支援Ｂ型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営

【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

１．事業運営

職員の移動に大きな変化はありませんでしたが、生活介護部門の配置の影響で日々の業務の中での配置変更などは頻繁に起こる状況が生まれていました。調理部門の配置は落ち着き製造能力が向上してきています。財政的にも昨年に続き余裕ある１年となっています。一方で、駅前工事や人員配置変更による外販の休止があり全体には増収だったものの就労収益は想定よりやや抑えられた結果となりました。

２．メンバーの処遇

メンバーの増員はなく比較的全般に穏やかに過ごす事の出来た１年だったかと思われます。作業面では駅前工事の影響や担当者の不調などもあってジェラートの外販が出来ず菓子類は減収になりましたが、芸術関係の増収や受託事業の単価アップなどがあり昨年に続いて就労収入が増収となり平均工賃が37,000円の水準に達しました。

（１）生産活動援助

菓子製造、調理部門では職員の雇用の安定と共に担当メンバーのスキルが上がり、生産が安定してイレギュラーな大量の受注にも応えられるようになっています。しかし、材料や資材の高騰は原材料に大きく影響している為に商品の値上げを行う事となりました。

（２）生活指導

利用者の立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めました。

（３）職業訓練指導

日々の活動の中で、就労に必要な知識及び能力の向上に努めました。

３．生産活動内容

（１）受託事業

地域貢献に繋がる調布市関連の委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培いました。特に施設外就労となっているクリーンセンター清掃については、週２回の実施日には引き続き大変意欲的に責任をもって取り組んでくれています。また、昨年度からスタートした施設メールの後の市役所の郵便物を郵便局へ配達する仕事も安定して実施する事が出来ました。

（２）自主製品事業

陶芸、組みひもについては、常設での販売確保が難しい中で今年度も「福祉まつり」、「市役所販売会」、「パルコ前販売会」などのイベント参加で売り上げに繋げています。数少ない常設販売では東京都設置の「ＫＵＲＵＭＩＲＵ」での販売が運営会社の協力もあり年々売上実績が向上しています。

（３）喫茶事業

駅前商店街での喫茶店（カフェ大好き）、福祉ショップの営業を通して地域の方々と触れ合いながらやりがいをもって働いています。昨年初めて年間で 800 万を超える収益がありましたが、今年度は更に 860 万を超え。就労支援収入の向上に大きく寄与しています。

（４）食品加工事業

カフェ大好きでの販売食品（カレー、スープなど）の製造、クッキー、シフォンケーキ、かぼちゃプリンなど焼菓子の製造、加工、販売。ジェラートの製造、加工、販売を行いました。喫茶事業の好調があり伴って降ろしている製品の提供で忙しくしていました。今年度は職員の雇用の安定で順調に生産活動を行う事が出来ました。

（５）ケータリングカーでのジェラート・菓子販売

調布駅前のケータリング販売は、駅前開発の影響で１年間丸々販売する事が出来ず、総合福祉センターのロビー（若草ショップ）を作業所連絡会の１事業所としてお借りして販売しました。しかし、年度後半は販売担当者の体調不良で出店が出来ず外販を休むこととなりました。それらの影響は大きく２年連続の売り上げの減収に繋がっています。

４．防災計画　＊生活介護と合同実施

生活介護部門と国領合同で防災訓練を年４回実施しました。

５．日　課

予定通りの日課を行いました。

６．職員

職員１名の退職に伴って新たに職員を採用しています。

７．研修　　＊生活介護と合同実施

８．運営資金

今年も単独事業として余裕の持てる黒字となりました。

９．第三者委員　＊生活介護と合同開催

生活介護と合同で行いました。

１０．リスクマネジメント委員会　＊生活介護と合同開催

生活介護と合同で行いました。

１１．みんなを守ろう委員会　＊生活介護と合同開催

生活介護と合同で行いました。

【出張所「カフェ大好き」】

調布市多摩川５－７－４京王多摩川８８ビル１Ｆ

１．事業運営

店長が年度内に二度かわり変化の多い一年でしたが客入りもよく、メンバー職員で協力しながら営業することができました。また、バナナフェアなどの新しい企画も好評でした。新店長となってからの新たな今後の展開が期待されます。

（１）事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

月の売上目標を達成できた時に支給する「大入り袋」を、過去最高の６回支給することができました。モチベーションアップを目指して年度途中で目標額の設定をあげましたが、それでも大入り袋を支給することができています。

②福祉ショップ事業

継続して市内福祉作業所の手作り品を展示販売しました。しごと場大好きのクラフトフェアや、しごと場大好き国領の作品をたくさん見て頂けました。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

月ごとに展示が変わり、市民の方々の作品発表の場として有効活用していただけました。新規利用の方の個展も開催され、充実した展示内容となりました。

（２）利用者の処遇

職員体制の変化が多い年でしたが、メンバーが落ち着いて仕事に関わることができました。その中で新たな作業に取り組むなど、成長もみられました。

（３）メンバー会議

しごと場大好きの月曜日の取り組みに、共に参加しました。

（４）広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好きの展覧会の情報等を発信しました。

②フェイスブックとインスタグラムでの発信を継続して行いました。担当職員が日々の様子や外販の様子もこまめにアップし、日に日にフォロワーが増えています。

２．運営・管理

（１）運　営

出張所として、適正な運営を行いました。

Ⅲ　共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩ・ユニット「パンプキン」の運営

【共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩ】

１．事業運営

移転より2年以上が経過しました。メンバーそれぞれが個々の生活を形作られています。自発的に取り組めることを増やしながら、必要に応じて支援の手を差し伸べています。去年末に都の福祉保健局の実地検査指導が入りました。ご指摘いただいた事項については、速やかに是正いたしました。引き続き財政面、人材面では安定した運営ができるように努めます。今年度は、懸案事項となっている土日の開所を目指します。

昨年度の懸案事項であった地域連携推進会議は開催することができました。構成員による各グループホームへの訪問も終了いたしました。今後も地域に密着し、透明性のある運営に努めます。

２．利用者の処遇

利用者が少しでも自立に向けた経験を積んでいければと、準備・片付け・掃除・洗濯・配膳・下膳等、日常生活に必要なスキルを自主的に取り組めるように働きかけてきました。食事・入浴の提供及び衛生管理・金銭管理も日常的に行いました。これにより洗濯機の使い方や洗濯物の干し方・お米の研ぎ方・下膳・小遣い帳記載等が良い習慣として身についてきているとの報告があり継続して続けています。利用者のご家族からのご要望もあり、土曜日の開所を月１回から開始して３年目になりました。（第三土曜日）

３．事業内容

（１）利用者に対する相談として、随時面談を行いました。

（２）食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、クッキングハウスさんに委託して提供して頂きました。年に数回程度、販売されている惣菜・お弁当等も取り入れました。また、入浴の介助を随時行いました。

（３）健康管理として、口腔ケア（歯磨き・ブラッシング等）の援助を随時行いました。

（４）金銭管理の援助として、小遣いを預かり出納を管理しました。

（５）職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

（６）一人暮らしを望んでいる元利用者に、随時相談として面談を行いました。また、関係各機関との連絡調整を行いました。

４．防災計画

ＤＡＩＳＵＫＩ防災計画を作成しました。避難訓練は、東京都の指導監査を受けて実施しました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

５．苦情解決

苦情解決　→　苦情相談窓口　／　虐待相談窓口

① 苦情対応規程に基き苦情/虐待防止受付担当　生活支援員：山口　寛孝　042-480-0231

② 苦情解決/虐待防止責任者　法人事務局GH担当：内田　喜則　042-486-1022　を置く

③ 当法人以外　調布市福祉健康部　障害福祉課　042-481-7094

④ 当法人以外　東京都社会福祉協議会　福祉サービス運営適正化委員会　03-5283-7020

６．利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費　平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 800 円）休日（昼 300 円、夕食 800 円）

家賃月額　62,000 円、　光熱水費、日用品費、雑費など実費。

経費は毎月、食費は利用に応じて、請求（翌月第四土曜日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

７．職員

従来からの体制で安定した運営ができました。土曜・日曜日の通常開所に向けてと、水曜日の夜勤のところで、世話人さんが必要なため、募集をかけております。

８．運営資金

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

【ユニット「パンプキン」】

東京都調布市染地２－２７－６

１．事業運営

年始に行われたパンプキン世話人全体研修を基に支援の共有を強化し、更なる統一した支援の提供を目指します。懸案事項となっている安定した勤務体制の確立を引き続き目指します。パンプキンに管理者を配置し、より安定した支援の提供並びに世話人との連携強化を目指します。虐待防止研修を含む職員の研修に力を注ぎます。

２．利用者の処遇

利用者が少しでも自立に向けた経験をできるようにと、食事の提供及び食事の介助、衣類の着脱の見守り及び介助、入浴の介助、トイレの介助等を行ってきました。集団生活でのルールを取り決めたり、安心してそれぞれのメンバーが過ごせるように約束事なども守れるように支援を進めています

３．事業内容

（１）利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
（２）食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、食事づくり担当職員が調理を行い、提供して頂きました。また、入浴介助担当職員が、入浴の介助を随時行いました。
（３）健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
（４）職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

４．防災計画

パンプキン防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催しました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

５．苦情解決

苦情解決　→　苦情相談窓口　／　虐待相談窓口

① 苦情対応規程に基き苦情/虐待防止受付担当　生活支援員：山口　寛孝　042-480-0231
② 苦情解決/虐待防止責任者　法人事務局GH担当：内田　喜則　042-486-1022　を置く
③ 当法人以外　調布市福祉健康部　障害福祉課　042-481-7094
④ 当法人以外　東京都社会福祉協議会　福祉サービス運営適正化委員会　03-5283-7020

６．利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、
食費　平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）
家賃月額　６１，２００円　光熱水費、日用品費、事務用品費、雑費などは実費を受領。
食費は利用に応じて、請求（翌月１０日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

７．職員

年度の途中、２名の採用（管理者・世話人）がありましたが、定着することがかなわず、退職されました。年度の終盤に１名（入浴の生活支援員）の採用がありました。

８．運営資金

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

９．短期入所「パンプキン」

今年度は本格稼働の年でしたが、職員の体制が安定しないため受け入れが難しくなり、体制作りを待つ１年となりました。

Ⅳ　その他の事業・活動

１．障碍者の社会参加を支援する活動

（１）交流活動（年間を通して随時）

① 餅つき０２６年度２月７日（土）

しごと場大好き　駐車スペース及び１階、２階

参加者：約 160 名以上

昨年に続いての開催となった餅つきですが、お天気にも恵まれ、例年並みの大勢の来訪者が参加され、にぎやかな餅つきとなりました。

今年度から、お客様以外（関係者）の持ち帰りのお餅はなくして、餅を搗く時間を短縮して、終了時間を早めに終われるようにしました。

２．広報・情報提供活動

（１）会報の発行等

法人の事業･活動を広く知らせるとともに関連情報を提供する為、調布市内外の関係機関･団体、協力者、助成団体、マスコミ、特別支援学校 PTA などに配布しました。

偶数月年６回、毎号６００部発行

発行月	発行No.	主な内容
４月	１９９	イイね！こんな居場所「岡さんのいえ TOMO」、こぶしの会だより「新たな世界への旅立ち」
６月	２００	イイね！こんな居場所「クッキングハウス」、こぶしの会だより「ドキドキの１年が過ぎて」
８月	２０１	イイね！こんな居場所「電車っ子 PARTY」、こぶしの会だより「将来を見据えて」
１０月	２０２	イイね！こんな居場所「MOJISUBA」、こぶしの会だより「通所の喜び」
１２月	２０３	イイね！こんな居場所「スペードの会」：男性介護者がなんでも語り合える居場所
２月	２０４	イイね！こんな居場所「調布 LGBT&アライの会」、こぶしの会だより「平穏な日々こそ有難い」

（２）情報提供活動

年次レポートを予定通り発行することができました。長年の課題である法人のパンフレットはいまだ未作成のため、早い時期の取り組みが必要です。

３．市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

（１）「それはおしゃれなコンサート 2026」

日時：２０２６年１月１０日（土）１３：３０開場、１４：００開演

第１部　西村直晃さん　　第２部　トクマルシューゴさん

４．協力・連携事業

（1）文化的活動の実施

実施できませんでした。

（2）他団体等への支援・協力活動の実施

実施できませんでした。

Ⅴ　組織運営

1．組織運営

（1）理事会、評議員会の開催

「しごと場大好き」「カフェ大好き」「しごと場大好き国領」「グループホーム DAISUKI」「ユニット　パンプキン」を運営する体制を整えるとともに、各種事業、活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図るよう努めました。

理事会の開催　6回　　評議員会の開催　2回

（2）事務局の確立による事務処理の円滑化

事務局会議を 定例で月 1 回開催し、運営上の課題について検討を重ねました。会計については、取引のある税理士事務所が変更となって２年目で、税理士さんと年間を通して、月々の確認を行ってきました。

（3）市民の参画を得るための委員会の確立

幅広い市民の参加によるプロジェクト（委員会）を設置し、法人の事業、活動を市民の参画・協働によって実施していくことを目指して活動しました。

【コンサートプロジェクト】

次年度開催の準備を進めてきました。会場も今回は取れて、ゲストも決まりました。

朝日敏幸　大菊健太　川﨑春枝　原郁子　舟山佐智　山口亜希　北沢貴子　後藤朋子　松本貴匡

（4）理事・監事、評議員の研修実施

引き続き、研修の機会を設けることに積極的に取り組みました。

Ⅵ　その他プロジェクト

1．第５期将来構想プロジェクト〈２０２２～２０２５年度第５期中期計画（1年延長)〉

２０２４年度までの予定で第５期はスタートしましたが２０２６年度から第２期の長期計画になるという事で１年延長して２０２５年度も第５期として第２期の長期計画を策定する機会としました。

第１期の長期計画の積み残し課題を確認、グループホームのニード調査等も拡大プロジェクトでの意見交換を経て次の１０年で実現すべき課題について検討し、以下のように第２期（２０２６～２０３５年度）長期計画を策定しました。

<u>第２期長期計画（２０２６～２０３５）</u>

<u>①暮らす</u>

◇新規グループホーム開設　◇ショートステイの確保

◇ホームヘルプ（利用者と事業所を繋ぐ）◇相談機能（サービス利用計画のセルフプラン０）

◇余暇活動支援

<u>②働く</u>

◇しごと場大好き大規模修繕　◇特定医療機関との連携

◇新規作業所の開設　◇サービスの質の向上　◇工賃向上

<u>③人財</u>

◇人財育成・人財確保　◇労務管理　◇職員の福利厚生

<u>④法人経営</u>

◇法人周年事業　◇社会貢献事業の開始

◇広報の推進　　◇事務局機能向上

【プロジェクト開催】定例年７回　拡大１回　計８回開催
２０２５年４月２１日第２２回／６月１６日第２３回／７月３０日第２４回／１０月３日第２５回
１０月２９日第２６回／１１月１日拡大プロジェクト／１２月１６日第２７回
２０２６年１月３０日第２８回／３月１３日第２９回
【プロジェクト委員】座長「亀田」　委員「原理事長・大村洋、舟山佐智、普後むつ子、菊池奈美子、里見知俊、内田喜則、松原中代、山口寛孝、」１０名

【２０２５年度将来構想拡大プロジェクト】
テーマ「共感する長期計画を目指して」
日時：２０２５年１１月２日　１３：００～１６：３０
場所：調布あくろす大会議場　参加３７名
◇法人のグランドデザインの解説、第２期長期計画案の①暮らす②働く③人財④法人経営の４本の柱に添った実現したい課題についてその中身の解説し、質問を受けながら意見交換を行い第２期長期計画についての共通認識を醸成した。

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

（単位:円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	188,123,043	187,866,443	256,600	流動負債	35,506,996	33,383,882	2,123,114
現金預金	151,249,244	141,344,529	9,904,715	事業未払金	23,515,559	23,434,758	80,801
事業未収金	31,804,026	36,174,810	△ 4,370,784	１年以内返済予定設備資金借入金	1,540,000	1,540,000	0
未収補助金	2,962,721	7,137,528	△ 4,174,807	未払費用	0	1,320	△ 1,320
商品・製品	311,687	238,307	73,380	預り金	1,753,362	543,141	1,210,221
仕掛品	5,460	4,923	537	職員預り金	2,674,365	2,938,456	△ 264,091
原材料	273,977	308,574	△ 34,597	仮受金	591,044	574,897	16,147
立替金	578,743	1,330,046	△ 751,303	賞与引当金	5,432,666	4,351,310	1,081,356
前払金	720,092	234,393	485,699				
前払費用	193,333	1,093,333	△ 900,000				
仮払金	23,760		23,760				
			0				
固定資産	321,795,514	329,471,327	△ 7,675,813	固定負債	6,255,690	7,178,600	△ 922,910
基本財産	245,023,681	248,889,361	△ 3,865,680	設備資金借入金	1,540,000	3,080,000	△ 1,540,000
土地	160,000,000	160,000,000	0	退職給付引当金	4,715,690	4,098,600	617,090
建物	75,023,681	78,889,361	△ 3,865,680				
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	負債の部合計	41,762,686	40,562,482	1,200,204
その他の固定資産	76,771,833	80,581,966	△ 3,810,133	純資産の部			
建物	38,659,199	42,203,897	△ 3,544,698	基本金	10,000,000	10,000,000	0
機械及び装置	1	1	0	基金	0	0	0
車輌運搬具	2,174,603	3,260,269	△ 1,085,666	国庫補助金等特別積立金	231,043,219	239,090,201	△ 8,046,982
器具及び備品	2,603,783	1,965,309	638,474	その他の積立金	13,300,702	13,300,702	0
権利	216,000	216,000	0	設備等整備積立金	7,406,478	7,406,478	0
ソフトウェア	463,834	705,834	△ 242,000	工賃変動積立金	5,894,224	5,894,224	0
投資有価証券	9,982,091	9,982,091	0				0
退職給付引当資産	4,715,690	4,098,600	617,090	次期繰越活動増減差額	213,811,950	214,384,385	△ 572,435
設備等整備積立資産	7,406,478	7,406,478	0				
工賃変動積立資産	5,894,224	5,894,224	0	(うち当期活動増減差額)	△ 572,435	21,653,525	△ 22,225,960
差入保証金	4,500,000	4,500,000	0				
長期前払費用	91,780	285,113	△ 193,333				
その他の固定資産	64,150	64,150	0				
			0	純資産の部合計	468,155,871	476,775,288	△ 8,619,417
資産の部合計	509,918,557	517,337,770	△ 7,419,213	負債及び純資産の部合計	509,918,557	517,337,770	△ 7,419,213

資金収支計算書

(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	25,109,907		8,546,420	16,563,487	
		受託事業収入	9,208,372		5,207,947	4,000,425	
		喫茶事業収入	8,683,902			8,683,902	
		自主製品事業収入	945,944		469,738	476,206	
		菓子、調理製造事業収入	4,031,126		1,854,318	2,176,808	
		アイスクリーム製造事業収入	1,918,296		882,417	1,035,879	
		簡易受託受注事業収入	231,500		132,000	99,500	
		仕入れ商品売り上げ収入	90,767			90,767	
		障害福祉サービス等事業収入	210,321,111		78,273,181	68,246,744	63,801,186
		自立支援給付費収入	171,260,597		66,031,214	57,663,719	47,565,664
		介護給付費収入	66,031,214		66,031,214		
		訓練等給付費収入	105,229,383			57,663,719	47,565,664
		利用者負担金収入	412,011		412,011		
		特定費用収入	13,993,301				13,993,301
		その他の事業収入	24,655,202		11,829,956	10,583,025	2,242,221
		補助金事業収入	24,655,202		11,829,956	10,583,025	2,242,221
		借入金利息補助金収入	78,540			78,540	
		経常経費寄附金収入	3,039,130	2,031,930	403,580	603,620	
		受取利息配当金収入	358,432	86,559	68,270	101,813	101,790
		その他の収入	1,857,589	1,138,900	74,093	560,396	84,200
		受入研修費収入	52,000		23,920	28,080	
		利用者等外給食費収入	77,900				77,900
		雑収入	1,727,689	1,138,900	50,173	532,316	6,300
		事業活動収入計(1)	240,764,709	3,257,389	87,365,544	86,154,600	63,987,176
	支出	人件費支出	166,961,761	187,140	83,008,749	43,813,124	39,952,748
		役員報酬支出	187,140	187,140			
		職員給料支出	72,181,385		42,725,784	22,970,908	6,484,693
		職員賞与支出	13,618,739		7,276,743	4,677,422	1,664,574
		非常勤職員給与支出	57,535,600		19,940,979	9,755,388	27,839,233
		退職給付支出	4,223,200		2,378,000	957,320	887,880
		法定福利費支出	19,215,697		10,687,243	5,452,086	3,076,368
		事業費支出	18,517,448	1,256,128	3,821,325	6,021,549	7,418,446
		給食費	4,404,562				4,404,562
		保健衛生費支出	622,806		277,265	345,541	
		被服費支出	75,944		16,192	59,752	
		教養娯楽費支出	142,530		67,627	74,903	
		水道光熱費支出	4,947,046		1,073,033	1,853,736	2,020,277
		消耗器具備品費支出	1,691,361	11,083	275,593	579,380	825,305
		保険料支出	652,712		234,947	368,505	49,260
		賃借料支出	1,350,200		352,072	998,128	
		教育指導費支出	92,651		43,626	49,025	
		車輌費支出	2,998,376	524	1,452,728	1,443,056	102,068
		業務委託費支出	38,500		25,432	13,068	
		雑支出	1,500,760	1,244,521	2,810	236,455	16,974
		事務費支出	27,864,960	421,955	6,437,367	8,507,013	12,498,625
		福利厚生費支出	236,111		144,610	86,219	5,282
		職員被服費支出	13,953			13,953	
		旅費交通費支出	119,520	72,000	23,896	23,624	
		研修研究費支出	198,492		89,637	101,705	7,150
		事務消耗品費支出	305,080	49,850	108,027	135,773	11,430
		印刷製本費支出	370,013	156,029	93,267	111,267	9,450
		水道光熱費支出	75,262		34,620	40,642	
		燃料費	1,915	1,915			
		修繕費支出	663,788		216,763	447,025	
		通信運搬費支出	1,123,922	451	234,929	329,735	558,807
		会議費	9,000	9,000			
		広報費支出	1,148,394	45,829	685,377	417,188	
		業務委託費支出	3,247,990		1,658,627	1,532,023	57,340
		手数料支出	346,873	4,378	103,388	212,541	26,566
		保険料支出	139,000	60,000	36,340	42,660	
		賃借料支出	613,866		389,297	224,569	
		土地・建物賃借料支出	17,927,638		2,321,248	3,906,390	11,700,000
		租税公課支出	857,150		210,105	647,045	
		保守料支出	131,450	14,850			116,600
		諸会費支出	164,904	5,304	64,584	89,016	6,000
		雑支出	170,639	2,349	22,652	145,638	
		就労支援事業支出	25,144,106		8,543,163	16,600,943	
		就労支援事業販売原価支出	24,809,669		8,452,595	16,357,074	
		就労支援事業販管費支出	334,437		90,568	243,869	
		事業販管費支出	334,437		90,568	243,869	
		支払利息支出	78,540			78,540	
		その他の支出	43,132		40,865	2,267	
		利用者等外給食費支出	4,190		1,927	2,263	
		雑支出	38,942		38,938	4	
		事業活動支出計(2)	238,609,947	1,865,223	101,851,469	75,023,436	59,869,819
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			2,154,762	1,392,166	△ 14,485,925	11,131,164	4,117,357

資金収支計算書

(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入					
		施設整備等補助金収入					
		固定資産売却収入					
		建設仮勘定売却収入					
		施設整備等収入計(4)					
	支出	設備資金借入金元金償還支出					
		固定資産取得支出					
		車両運搬具取得支出					
		器具及び備品取得支出					
		建設仮勘定取得支出					
		施設整備等支出計(5)					
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)						
その他の活動による収支	収入	拠点区分間繰入金収入					
		サービス区分間繰入金収入					
		その他の活動による収入					
		その他の特別収入					
		その他の固定資産収入					
		その他の活動収入計(7)					
	支出	拠点区分間繰入金支出					
		サービス区分間繰入金支出					
		その他の活動による支出					
		その他の固定資産支出					
		その他の活動支出計(8)					
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)						
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			2,154,762	1,392,166	△ 14,485,925	11,131,164	4,117,357

前期末支払資金残高(11)	149,609,553	57,579,847	△ 8,951,368	90,797,552	10,183,522
当期末支払資金残高(10)+(11)	151,764,315	58,972,013	△ 23,437,293	101,928,716	14,300,879

事業活動計算書

(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

		勘定科目	法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	25,109,907		8,546,420	16,563,487	
		受託事業収益	9,208,372		5,207,947	4,000,425	
		喫茶事業収益	8,683,902			8,683,902	
		自主製品事業収益	945,944		469,738	476,206	
		菓子、調理製造事業収益	4,031,126		1,854,318	2,176,808	
		アイスクリーム製造事業収益	1,918,296		882,417	1,035,879	
		簡易受託受注事業収益	231,500		132,000	99,500	
		仕入れ商品売り上収益	90,767			90,767	
		障害福祉サービス等事業収益	210,321,111		78,273,181	68,246,744	63,801,186
		自立支援給付費収益	171,260,597		66,031,214	57,663,719	47,565,664
		介護給付費収益	66,031,214		66,031,214		
		訓練等給付費収益	105,229,383			57,663,719	47,565,664
		利用者負担金収益	412,011		412,011		
		特定費用収益	13,993,301				13,993,301
		その他の事業収益	24,655,202		11,829,956	10,583,025	2,242,221
		補助金事業収益	24,655,202		11,829,956	10,583,025	2,242,221
		経常経費寄附金収益	3,039,130	2,031,930	403,580	603,620	
		サービス活動収益計(1)	238,470,148	2,031,930	87,223,181	85,413,851	63,801,186
	費用	人件費	168,043,117	187,140	83,703,363	43,966,613	40,186,001
		役員報酬	187,140	187,140			
		職員給料	72,181,385		42,725,784	22,970,908	6,484,693
		職員賞与	9,267,429		5,053,610	2,942,101	1,271,718
		賞与引当金繰入	5,432,666		2,917,747	1,888,810	626,109
		非常勤職員給与	57,535,600		19,940,979	9,755,388	27,839,233
		退職給付費用	4,223,200		2,378,000	957,320	887,880
		法定福利費	19,215,697		10,687,243	5,452,086	3,076,368
		事業費	18,517,448	1,256,128	3,821,325	6,021,549	7,418,446
		給食費	4,404,562				4,404,562
		保健衛生費	622,806		277,265	345,541	
		被服費	75,944		16,192	59,752	
		教養娯楽費	142,530		67,627	74,903	
		水道光熱費	4,947,046		1,073,033	1,853,736	2,020,277
		燃料費					
		消耗器具備品費	1,691,361	11,083	275,593	579,380	825,305
		保険料	652,712		234,947	368,505	49,260
		賃借料	1,350,200		352,072	998,128	
		教育指導費	92,651		43,626	49,025	
		業務委託費			25,432	13,068	
		車輌費	2,998,376	524	1,452,728	1,443,056	102,068
		雑費	1,500,760	1,244,521	2,810	236,455	16,974
		事務費	28,058,293	421,955	6,437,367	8,533,680	12,665,291
		福利厚生費	236,111		144,610	86,219	5,282
		職員被服費	13,953			13,953	
		旅費交通費	119,520	72,000	23,896	23,624	
		研修研究費	198,492		89,637	101,705	7,150
		事務消耗品費	305,080	49,850	108,027	135,773	11,430
		印刷製本費	370,013	156,029	93,267	111,267	9,450
		水道光熱費	75,262		34,620	40,642	
		燃料費	1,915	1,915			
		修繕費	663,788		216,763	447,025	
		通信運搬費	1,123,922	451	234,929	329,735	558,807
		会議費	9,000	9,000			
		広報費	1,148,394	45,829	685,377	417,188	
		業務委託費	3,247,990		1,658,627	1,532,023	57,340
		手数料	346,873	4,378	103,388	212,541	26,566
		保険料	139,000	60,000	36,340	42,660	
		賃借料	613,866		389,297	224,569	
		土地・建物賃借料	18,120,971		2,321,248	3,933,057	11,866,666
		租税公課	857,150		210,105	647,045	
		保守料	131,450	14,850			116,600
		諸会費	164,904	5,304	64,584	89,016	6,000
		雑費	170,639	2,349	22,652	145,638	
		就労支援事業費用	25,104,786		8,543,163	16,561,623	
		就労支援事業販売原価	24,770,349		8,452,595	16,317,754	
		期首製品(商品)棚卸高	238,307			238,307	
		当期就労支援事業製造原価	24,843,729		8,452,595	16,391,134	
		期末製品(商品)棚卸高	311,687			311,687	
		就労支援事業販管費	334,437		90,568	243,869	
		減価償却費	9,538,810		1,273,170	4,370,681	3,894,959
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,226,982		△ 659,262	△ 3,856,169	△ 3,711,551
		サービス活動費用計(2)	241,035,472	1,865,223	103,119,126	75,597,977	60,453,146
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△ 2,565,324	166,707	△ 15,895,945	9,815,874	3,348,040

事業活動計算書

(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	78,540			78,540	
		受取利息配当金収益	358,432	86,559	68,270	101,813	101,790
		その他のサービス活動外収益	1,857,589	1,138,900	74,093	560,396	84,200
		利用者等外給食費収益	77,900				77,900
		受入研修費収益	52,000		23,920	28,080	
		雑収益	1,727,689	1,138,900	50,173	532,316	6,300
		雑収益					
		サービス活動外収益計(4)	2,294,561	1,225,459	142,363	740,749	185,990
	費用	支払利息	78,540			78,540	
		その他のサービス活動外費用	43,132		40,865	2,267	
		利用者等外給食費	4,190		1,927	2,263	
		雑損失	38,942		38,938	4	
		サービス活動外費用計(5)	121,672		40,865	80,807	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,172,889	1,225,459	101,498	659,942	185,990
経常増減差額(7)=(3)+(6)			△ 392,435	1,392,166	△ 15,794,447	10,475,816	3,534,030
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益					
		施設整備等補助金収益					
		固定資産売却益					
		拠点区分間繰入金収益					
		その他の特別収益					
		特別収益計(8)					
	費用	基本金繰入額					
		固定資産売却損・処分損					
		国庫補助金等特別積立金積立額	180,000		180,000		
		拠点区分間繰入金費用					
		特別費用計(9)	180,000		180,000		
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 180,000		△ 180,000		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			△ 572,435	1,392,166	△ 15,974,447	10,475,816	3,534,030
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		214,384,385	70,295,488	17,278,183	116,076,127	10,734,587
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		213,811,950	71,687,654	1,303,736	126,551,943	14,268,617
	基本金取崩額(14)						
	その他の積立金取崩額(15)						
	その他の積立金積立額(16)						
	工賃変動積立金積立額						
	設備等整備積立金積立額						
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		213,811,950	71,687,654	1,303,736	126,551,943	14,268,617

社会福祉法人調布を耕す会　２０２６年度事業計画

Ⅰ　重点目標

１．社会福祉事業　「しごと場　大好き」分場「しごと場大好き　国領」「カフェ　大好き」の運営の充実に努める。

２．社会福祉法人として、地域福祉の担い手となるべく、多くの市民とともに事業・活動の一層の充実、展開を目指す。

３．グループホーム「ＤＡＩＳＵＫＩ」ユニット「パンプキン」の運営の充実に努める。

４．分場「しごと場大好き国領」の移転を完了させる。

Ⅱ　生活介護「しごと場　大好き」・分場「しごと場　大好き　国領」の運営

所在地　　東京都調布市布田３−２０−１

利用定員　　１０名　現員１６名≪区分６（７）区分５（７）区分４（２）≫

職員定数

所　長（管理者）	１名（常勤）
サービス管理責任者	１名（所長兼務）
医　師	１名（嘱託）
看護職員	１名（非常勤）
機能訓練指導員	１名
生活支援員	１０名
事務職員	１名（兼務）

分場「しごと場大好き　国領」

所在地　　東京都調布市国領町７－１７－２６

利用定員　　７名　現員６名≪区分５（５）区分４（１）≫

職員定数

所　長（管理者）	１名（兼務）
サービス管理責任者	１名（兼務）
生活支援員	３名

１．事業運営基本計画

指定生活介護の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第二条の四に規定するものに対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

２．今年度方針

「しごと場大好き」：昨年度に引き続き職員の人財育成、定着に力点を置いた総合的な人財マネ

ジメントへの取り組みを重点課題とします。

分場「しごと場大好き　国領」：新たな担当職員が体調不良から退職となり、これまでの運営の在り方を見直し余裕のある人員配置から安定した支援を提供する事を目指します。また、賃貸の契約更新が叶わず１２月には移転する事が決まっており移転先の確保を最優先課題として取り組みます。

３．メンバーの処遇

（１）生活支援

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

（２）創作活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

４．活動内容

「しごと場大好き」

（１）日常生活上の支援を提供

ＡＤＬが未自立なメンバーに対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めます。

（２）創作活動の機会の提供

創作活動を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上を図ります。分場との連携を意識し積極的に交流の機会を設けます。（組紐、陶芸、作画他）

（３）簡易受託受注事業

封入封緘や下請け軽作業、ポスティングなどを通して地域への障碍者理解を促進し、働く事への意欲を喚起します。

（４）その他の事業

①社会体験グループ活動：余暇／運動／コミュニケーションマナー、アフタヌーンティなどのグループ活動）

②地域に根ざした活動（地域向け施設開放行事各種／公園清掃／駅前清掃／駐輪場清掃他）

③受託事業、食品加工事業など B 型事業所との共同事業

④自立訓練（日常の生活や作業の中で、個別支援等を通じて社会生活に活きるプログラムを提供して行く）

⑤在宅支援：大規模震災水災害、感染症拡大他、在宅による支援がやむを得ないと市区町村が判断した場合、在宅での支援を提供する場合があります。

⑥専門職による支援：理学療法士、言語聴覚士、陶芸作家など専門職に定期的に来訪いただき各分野の知識と技術を学びながらメンバー支援の質を向上させていきます。

⑦リハビリ：ストレッチ、ダンス、トレーニング等を通じて身体的退行抑制に努めます。

分場「しごと場大好き国領」

（１）生活力の向上と維持

ＡＤＬが未自立なメンバーに対し、日常的なサポートに加え自分で判断する力を伸ばしていけるような取り組みを行うことで自発性の向上を目指します。

（2）作業の取り組み

メンバー個々の能力に応じた作業提供を行います。難しいと感じる作業に対して工程の細分化（スモールステップ）や多角的な視野を持ち、作業にメンバーを合わせるのではなくメンバーに作業を合わせ、技術の習得を目指します。また、それぞれの特性を生かした作業や社会との繋がりを持てるような作業を開拓していきます。

作業項目

自主製品の制作と販売

・紙すき（手すきコースター）

・シルクスクリーンでの製品作り（T シャツ・手ぬぐい）

受注作業

・定期清掃（マンション清掃）・駐輪場清掃・花壇保全・ポスティング等

５．防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年２～４回実施します。

所　長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

分場では独自の防災計画を作成し避難訓練等を年２～４回実施します。

主任	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

６．日　課

職員出勤　打合せ・送迎	８：２５
通所	９：００
打合せ・準備	９：１５
作業開始	９：１５～１２：００
昼食・休憩	１２：００～１３：００
作業開始	１３：００～１５：００
作業終了・片付け・掃除	１５：００～１５：４５
打合せ・帰宅準備・帰宅	１５：４５～１６：００
送迎	１６：００～１６：４５
職員打合せ	１７：００
閉所	１７：２５

７．苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当　援助主任：後藤　朋子　042-486-1022

苦情解決責任者　所長：亀田　良一郎　042-486-1022　を置く

分場

苦情対応規定に基づき苦情受付担当　分場主任：広沢　真　042-444-3733

苦情解決責任者　所長：亀田　良一郎　042-486-1022　を置く

８．第三者委員

三田　恵美（特別支援学校教員）　伊藤　正子（元特別支援学校教員）の２名を置く。
年に数回の相談日に加えて訪問調査日を設けて、日常の運営の中での課題を調査して頂く。また、分場国領に於いても同じ機会を提供する。

９．職員名簿

しごと場大好き

職　　名	氏　　名	資　　格
所　長 （管理者・サービス管理責任者）	亀田　良一郎	社会福祉士
生活支援員・調理主任	亀田　弘美	
機能訓練指導員	杉山　直哉	言語聴覚士
生活支援員	土屋　美優紀	
生活支援員	藤本　美香	介護福祉士
生活支援員	呉　　敏司	
生活支援員	宮川　香	社会福祉士 精神保健福祉士
生活支援員	福島　紘希	
生活支援員	日下石　誠	
生活支援員	牧田　洋子	
生活支援員	河野　知美	
事務職員・支援員兼務	松原　中代	
看護職員・支援員兼務	上田　砂恵子	看護師

分場「しごと場大好き国領」

職　　名	氏　　名	資　　格
所　長（兼務） （管理者・サービス管理責任者）	亀田　良一郎	社会福祉士
生活支援員・主任	広沢　真	社会福祉士
生活支援員	米倉　佳の子	介護福祉士
機能訓練指導員・生活支援員	松崎　亜季	理学療法士

10. **職員研修計画**

サポーターズカレッジを活用した研修受講の形を積極的に進めると共に、資格取得を後押しする手当制度の導入を行います。

11. **資金計画**

通常の運営経費は運営費でまかないます。財政状況を鑑みながら新たな福祉業務支援ソフトの導入を検討します。

Ⅲ　就労継続支援Ｂ型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営

【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

所在地　　東京都調布市布田３-２０－１
利用定員　　２０名　現員２７名
職員定数

所　長（管理者）	１名
サービス管理責任者	１名（所長兼務）
職業指導員	３名
生活支援員	４名
目標工賃達成指導員	１名
事務職員	１名

１．事業運営基本計画

指定就労継続支援（Ｂ型）の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

２．今年度方針

ここ数年来の課題となっている職員の定着の為の労働環境整備に力点を置いた取組みが重要になります。また、メンバーが高齢化する中で個々の作業スペースや作業種目の充実が求められている事から、新たな作業の形やワークスペースの確保を検討して行きます。

３．メンバーの処遇

（１）生産活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

（２）生活指導

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

（３）職業訓練指導

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供を行います。その中で昨年に引き続き施設外就労による取り組みを行っていきます。

４．生産活動内容

（１）受託事業

地域貢献に繋がる行政からの委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培います。新たに委託されたペットボトルキャップの回収に取り組みます。(牛乳パック回収、公園清掃、メール交換、ポスティング、駐輪場散水、クリーンセンター清掃)

（２）自主製品事業

創作活動（芸術活動）とその販売や展示を通して、地域への障害者理解の促進と働くことへの意欲を喚起します。都運営の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売や障害者アート展にも積極的に取り組みます。(陶芸、組みひも、ポストカード、絵画他)

（３）喫茶事業

駅前商店街での喫茶店、福祉ショップ営業（カフェ大好き）での仕事を通して社会人として必要な知識、能力を培います。

（４）食品加工事業

食品製造、加工、販売を通しての社会人に必要な知識、能力を培います。また食品表示や、HACCPでの衛生管理を行い安全性を高め、更なる販路開拓に取組みます。(カフェ大好きでの販売食品、菓子の製造、加工)(ジェラートの製造、加工、販売)

５．防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年２～４回実施します。

所　長	総指揮
生活支援員	救助担当・連絡・報告担当
目標工賃達成指導員	救助担当・連絡・報告担当
職業指導員	消火・救助担当

６．日　課

職員出勤	８：３０
通所	９：００
打合せ・準備	９：１５
作業開始	９：１５～１２：００
昼食・休憩	１２：００～１３：００
作業開始	１３：００～１５：００
作業終了・片付け・掃除	１５：００～１５：４５
打合せ・帰宅準備・帰宅	１５：４５～１６：００
送迎	１６：００～１６：４５
職員打合せ	１７：００
閉所	１７：３０

７．苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当　援助主任：後藤　朋子　042-481-3933
苦情解決責任者　所長：亀田　良一郎　042-486-1022　を置く

８．第三者委員　＊生活介護事業所と共同

三田　恵美（特別支援学校教員）　伊藤　正子（元特別支援学校教員）の２名を置く。
大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。出張所においても同じ機会を利用し相談を受ける。

９．職員研修計画

サポーターズカレッジを活用した研修受講の形を積極的に進めると共に、資格取得を後押しする手当制度の導入を行います。

10. 資金計画

財政状況を鑑みて事務処理の効率化を目指しクラウドによるデータ管理を検討します。

11. 職員名簿

職　　名	氏　　名	資　　格
所　長　＊生活介護と兼務 （管理者・サービス管理責任者）	亀田　良一郎	社会福祉士
＊カフェ大好き店長 生活支援員	松垣　千恵	
援助主任 生活支援員	後藤　朋子	
生活支援員	阿部　隼也	
目標工賃達成指導員	雲野　牧古	社会福祉士
職業指導員	高木　里美	
職業指導員	佐藤　愛	社会福祉士
職業指導員	小林　美菜子	
職業指導員	前嶋　尚子	
法人事務局長 事務職員	内田　喜則	

【出張所「カフェ大好き」】

所在地　　東京都調布市多摩川５―７－４京王多摩川８８ビル１Ｆ

１．基本方針

（１）市民と直に接する機会を積極的に持ち、市民に理解を求めるとともに多くの社会的体験を得る場とする。

（2）地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売する場とする。
（3）就労をした障碍のある仲間が、帰宅途中気がねなく立ち寄り、英気を養える場となるよう努める。
（4）週末に営業することで、障碍のある仲間の余暇活動をサポートする場となるよう努める。
（5）地域に根ざした活動をする。
（6）就労継続支援施設Ｂ型「しごと場大好き」の出張所として、店舗営業の作業に取組むことで「仕事」という意識により強く働きかける場とする。

２．今年度方針

昨年度より新たな店長が就任しての運営がスタートしました。来客数も上向きが続いており、大入り袋も継続して出せることが続いています。これまで培ってきたカフェ大好きのよいところを活かしながらの新しい展開も模索しており、また、年度末には３０周年記念事業も計画しています。新しい職員体制でのワクワク楽しい取り組みが期待できます。

３．事業

（1）事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

従業員もお客様も楽しめる雰囲気を大事にした営業をしていきます。メニューブックの劣化がみられ、新調を検討します。また、原価計算を行い適正価格に修正を検討します。

②福祉ショップ事業

地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売します。定期的な商品入れ替えも働きかけていきます。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

Ｃａｆｅの無料ギャラリーを地域住民に一般開放し、展示会等の文化的活動の発信の場として取り組んでいきます。

（2）利用者の処遇

①常時充分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけます。

②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけます。（加齢への対応、積極的な調理への参加等）

③安定した工賃収入が得られるよう努力します。

④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにします。

（3）メンバー会議

しごと場大好きの月曜日の取り組みに合同で参加します。

（4）広報・情報提供活動

ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用して、カフェ大好きの情報発信をします。

４．運営・管理

（1）運　営

出張所として、適正な運営を行います。

（2）資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないます。

（3）衛生管理

①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちます。

②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めます。

③食品の取り扱いには充分注意します。

④定期的に衛生管理チェックを行います。検便を年２回実施します。（４月・１０月）

（4）保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めます。

（5）防災計画

防災計画を作成するとともに、避難訓練を実施します。

（6）苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当　生活支援員：後藤　朋子 042-481-3933

苦情解決責任者　所長：亀田　良一郎　042-486-1022　を置きます。

苦情対応マニュアルに基づき、迅速な対応を心がけます。

（7）第三者委員

三田　恵美（特別支援学校教員）　伊藤　正子（元特別支援学校教員）の２名を置きます。

（8）施設間の連絡調整

①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図ります。

②全国喫茶コーナー交流会の活動に積極的に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう努力します。

（9）研　修

他の福祉喫茶の見学を兼ねてお店を訪問して、メンバーとともに昼の食事をしたり、お話を伺ったりするという研修の機会をもちます

Ⅳ　共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩの運営

所在地　　東京都調布市調布ヶ丘２丁目３４番地１

利用定員　７名　　区分６：１名、区分５：２名、区分４：３名、区分３：１名

職員数　　５名

一　所　長（管理者）　　１名（兼務：サビ管・常勤の生活支援員と兼務））

二　サービス管理責任者　１名（兼務：管理者・常勤の生活支援員と兼務）

三　生活支援員　　４名（常勤１名・非常勤３名）

四　世話人　　６人（非常勤５名、うち３名は生活支援員と兼務）

１．事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める

２．今年度方針

移転より１年10か月以上が経過しました。メンバーそれぞれが個々の生活を形作られています。自発的に取り組めることを増やしながら、必要に応じて支援の手を差し伸べています。去年末に都の福祉保健局の実地検査指導が入りました。ご指摘いただいた事項については、速やかに是正いたしました。引き続き財政面、人材面では安定した運営ができるように努めます。今年度は、懸案事項となっている土日の開所を目指します。

昨年度の懸案事項であった地域連携推進会議は開催することができました。構成員による各グループホームへの訪問も終了いたしました。今後も地域に密着し、透明性のある運営に努めます。

３．メンバーの処遇

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努めます。

４．事業内容

（１）メンバーに対する相談
（２）食事、入浴、トイレの対応等支援の提供
（３）健康管理
（４）金銭管理の援助
（５）余暇活動の支援
（６）職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助

５．防災計画

ＤＡＩＳＵＫＩ防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年２回実施する。

所　長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人	救助担当・消火担当

６．苦情解決　→　苦情相談窓口　／　虐待相談窓口

①　苦情対応規程に基き苦情/虐待防止受付担当　生活支援員：山口　寛孝　042-480-0231
②　苦情解決/虐待防止責任者　法人事務局GH担当：内田　喜則　042-486-1022　を置く
③　当法人以外　調布市福祉健康部　障害福祉課　042-481-7094
④　当法人以外　東京都社会福祉協議会　福祉サービス運営適正化委員会　03-5283-7020

７．メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の１割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材費　（朝食３００円、昼食３００円、夕食８００円）
家賃:６２，０００円　他、水道光熱費、日用品費、雑費など実費、修繕積立費

８．職員名簿

職　　名	氏　　名	資　　格
所　長（グループホームパンプキン所長と兼務） （管理者）	山口　寛孝	ホームヘルパー２級 精神保健福祉士 介護福祉士
生活支援員（管理者・ｻｰﾋﾞｽ管理責任者と兼務）	山口　寛孝	
世話人	三宅　八江子	ホームヘルパー１級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人	桜井　洋子	ホームヘルパー２級 介護福祉士
世話人（生活支援員を兼務）	小島　良太	
世話人（生活支援員を兼務）	竹中　とも子	
世話人（生活支援員を兼務）	肥後　智史	

９．資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

10. 研修計画

調布市人材福祉センターの研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、市内の身体介護を行っている事業所に介護技術について教えを乞うことを研修として予定している。

Ⅴ　共同生活援助グループホームＤＡＩＳＵＫＩパンプキンの運営

所在地　　東京都調布市染地２－２７－６
利用定員　５名　　区分６：２名、区分５：１名、区分３：２名

職員数

一　所　長（管理者）　　１名（DAISUKI 管理者と兼務）
二　サービス管理責任者　１名（所長・常勤の生活支援員と兼務）
三　生活支援員　　７名（常勤１名・非常勤６名）
四　世話人　　４名（非常勤）
五　看護師　　１名（非常勤）

１．事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運

営に努める。

２．今年度方針

年始に行われたパンプキン世話人全体研修を基に支援の共有を強化し、更なる統一した支援の提供を目指します。懸案事項となっている安定した勤務体制の確立を引き続き目指します。パンプキンに管理者を配置し、より安定した支援の提供並びに世話人との連携強化を目指します。虐待防止研修を含む職員の研修に力を注ぎます。

３．メンバーの処遇

メンバーの基本的人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努めます。

４．事業内容

（１）メンバーに対する相談
（２）食事、入浴の提供
（３）健康管理
（４）金銭管理の援助
（５）余暇活動の支援
（６）職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助

５．防災計画

ＤＡＩＳＵＫＩパンプキン防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年２回実施する。

所　長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人	救助担当・消火担当

６．苦情解決　→　苦情相談窓口　／　虐待相談窓口

① 苦情対応規程に基き苦情/虐待防止受付担当　生活支援員：山口　寛孝　042-480-0231
② 苦情解決/虐待防止責任者　法人事務局GH担当：内田　喜則　042-486-1022　を置く
③ 当法人以外　調布市福祉健康部　障害福祉課　042-481-7094
④ 当法人以外　東京都社会福祉協議会　福祉サービス運営適正化委員会　03-5283-7020

７．メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の１割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費　（朝食３００円、昼食３００円、夕食６００円（水：８００円））
家賃:６１，２００円、他、水道光熱費、日用品費、雑費など実費、修繕積立費

８．職員名簿

職　　名	氏　　名	資　　格
所　長（グループホームDAISUKI所長と兼務） （管理者）	山口　寛孝	ホームヘルパー２級 精神保健福祉士 介護福祉士
生活支援員（管理者・ｻｰﾋﾞｽ管理責任者と兼務）	山口　寛孝	
生活支援員	原田美由紀	
生活支援員	高橋由美子	介護福祉士
世話人	織田麗子	
世話人	来田めぐみ	
生活支援員	原　泉	
世話人	山城末子	
世話人	鈴木瑞穂	
生活支援員	野間口千鶴	介護福祉士
看護師（兼務）	上田砂恵子	看護師

９．資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

Ⅵ　その他の事業・活動

１．障碍者の社会参加を支援する活動

交流活動（年間を通して随時）

四季折々の行事で障碍者と市民とが交流する機会を設けます。

２．広報・情報提供活動

（１）会報の発行等

会報を発行、配布することで広く法人の活動を知ってもらえるようにします。

（２）情報提供活動

ホームページを活用し、法人のリアルタイムな情報を提供できるようにします。

３．市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

（１）「それはおしゃれなコンサート（第 30 回）」の実施

日時：２０２７年3月１３日

会場：調布市文化会館たづくり　くすのきホール

出演者：未定

障碍の有無にかかわらず、身近な地域で本格的なコンサートを共に楽しむことを目的としたコンサートを開催します。

４．協力・連携事業

（１）文化的活動の実施

（２）他団体等への支援・協力活動の実施

Ⅶ．組織運営

１．組織運営

社会福祉事業　「しごと場 大好き」・「カフェ 大好き」・「しごと場大好き国領」グループホーム「ＤＡＩＳＵＫＩ」・グループホーム「パンプキン」を運営する態勢を整えるとともに、事業・活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図ります。

（１）理事会、評議員会の開催　＊予定

第１回理事会　　６月　７日（日）　　第１回定時評議員会　　６月２７日（土）

第２回理事会　　９月２７日（日）

第３回理事会　１１月２９日（日）

第４回理事会　　１月３１日（日）

第５回理事会　　３月　１４日（日）　　第２回評議員会　　３月２７日（土）

※評議員会は、上記２回の他、必要に応じて理事会が招集する。

（２）事務局の確立による事務処理の円滑化

事務部門の体制の確立を目指して、職務分掌の洗い出し、年間のスケジュール化等を行い、法人監査が滞りなく終わるように未整備部分の手直しを行います。以下は事務局会議日程（予定）です。

4/27、5/25、6/15、7/27、8/24、9/14、10/26、11/9、12/14、1/18、2/22、3/8

（３）市民の参画を得るための委員会の確立

コンサートなど一般市民と共に行事を企画段階から作り上げていきます。

（４）理事・監事、評議員の研修実施

適正な運営をするため、役員の研修の機会を設けます。

２．財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めます。

様々な活動を通じて、自主財源の確保に向けた取り組みを進めます。

２０２６年度　予算内訳表

(自)令和 8年 4月 1日(至)令和 9年 3月31日

2026年3月時点　(単位:円)

		勘定科目	法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	26,265,000		8,770,000	17,495,000	
		受託事業収入	10,000,000		5,000,000	5,000,000	
		喫茶事業収入	8,500,000			8,500,000	
		自主製品事業収入	1,150,000		650,000	500,000	
		菓子、調理製造事業収入	2,040,000		1,830,000	210,000	
		アイスクリーム製造事業収入	2,090,000		940,000	1,150,000	
		簡易受託受注事業収入	415,000		250,000	165,000	
		仕入れ商品売り上げ収入	180,000		100,000	80,000	
		障害福祉サービス等事業収入	208,261,000		80,580,000	66,138,000	61,543,000
		自立支援給付費収入	169,800,000		68,200,000	54,000,000	47,600,000
		介護給付費収入	68,200,000		68,200,000		
		訓練等給付費収入	101,600,000			54,000,000	47,600,000
		利用者負担金収入	380,000		380,000		
		特定費用収入	13,943,000				13,943,000
		その他の事業収入	24,138,000		12,000,000	12,138,000	
		補助金事業収入	24,138,000		12,000,000	12,138,000	
		借入金利息補助金収入	110,000		30,000	80,000	
		経常経費寄附金収入	4,350,000	1,500,000	350,000	2,500,000	
		受取利息配当金収入	125,000	50,000	10,000	15,000	50,000
		その他の収入	1,941,000	1,550,000	125,000	180,000	86,000
		その他の収入	100,000			100,000	
		受入研修費収入	55,000		25,000	30,000	
		利用者等外給食費収入	76,000				76,000
		雑収入	1,710,000	1,550,000	100,000	50,000	10,000
		事業活動収入計(1)	241,052,000	3,100,000	89,865,000	86,408,000	61,679,000
	支出	人件費支出	162,833,000	224,000	72,800,000	50,800,000	39,009,000
		役員報酬支出	224,000	224,000			
		職員給料支出	72,334,000		41,000,000	23,000,000	8,334,000
		職員賞与支出	20,405,000		9,000,000	10,000,000	1,405,000
		非常勤職員給与支出	55,200,000		20,000,000	9,500,000	25,700,000
		退職給付支出	3,670,000		1,500,000	1,200,000	970,000
		派遣職員支出	100,000			100,000	
		法定福利費支出	10,900,000		1,300,000	7,000,000	2,600,000
		事業費支出	17,677,000		4,900,000	4,515,000	8,262,000
		給食費支出	4,294,000				4,294,000
		保健衛生費支出	1,000,000		500,000	500,000	
		被服費支出	40,000		20,000	20,000	
		教養娯楽費支出	500,000		250,000	250,000	
		水道光熱費支出	3,520,000		500,000	1,000,000	2,020,000
		消耗器具備品費支出	1,338,000		10,000	480,000	848,000
		保険料支出	826,000		250,000	300,000	276,000
		賃借料支出	2,645,000		2,400,000	245,000	
		教育指導費支出	100,000		50,000	50,000	
		葬祭費支出	20,000		10,000	10,000	
		車輌費支出	2,420,000		850,000	1,500,000	70,000
		業務委託費支出	234,000				234,000
		雑支出	630,000		10,000	100,000	520,000
		地域交流費支出	110,000		50,000	60,000	
		事務費支出	27,188,000	1,722,000	5,925,000	8,005,000	11,536,000
		福利厚生費支出	350,000		130,000	170,000	50,000
		職員被服費支出	60,000		10,000	50,000	
		旅費交通費支出	105,000	55,000	20,000	30,000	
		研修研究費支出	75,000		10,000	65,000	
		事務消耗品費支出	457,000	50,000	135,000	200,000	72,000
		印刷製本費支出	480,000	170,000	10,000	300,000	
		修繕費支出	600,000		100,000	500,000	
		通信運搬費支出	1,174,000	10,000	300,000	300,000	564,000
		会議費支出	20,000		10,000	10,000	
		広報費支出	450,000	50,000	150,000	250,000	
		業務委託費支出	3,172,000		1,400,000	1,700,000	72,000
		手数料支出	380,000	10,000	130,000	200,000	40,000
		保険料支出	260,000	60,000	100,000	100,000	
		土地・建物賃借料支出	16,500,000		2,800,000	2,900,000	10,800,000
		租税公課支出	1,160,000	56,000	500,000	600,000	4,000
		保守料支出	160,000	50,000	10,000	100,000	
		渉外費支出	10,000			10,000	
		諸会費支出	47,000	11,000	10,000	20,000	6,000
		雑支出	1,800,000	1,200,000	100,000	500,000	
		就労支援事業支出	26,265,000		8,770,000	17,495,000	
		就労支援事業販売原価支出	26,225,000		8,770,000	17,455,000	
		就労支援事業販管費支出	40,000			40,000	
		事業販管費支出	40,000			40,000	
		支払利息支出	80,000			80,000	
		その他の支出	3,000			3,000	
		利用者等外給食費支出	3,000			3,000	
		事業活動支出計(2)	234,046,000	1,946,000	92,395,000	80,898,000	58,807,000
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	7,006,000	1,154,000	△ 2,530,000	5,510,000	2,872,000

２０２６年度　予算内訳表

(自)令和 8年 4月 1日(至)令和 9年 3月31日

2026年3月時点　(単位:円)

勘定科目			法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	80,000			80,000	
		設備資金借入金元金償還補助金収入	80,000			80,000	
		施設整備等収入計(4)	80,000			80,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000			1,540,000	
		固定資産取得支出	4,300,000		100,000	4,200,000	
		車両運搬具取得支出	4,000,000			4,000,000	
		器具及び備品取得支出	300,000		100,000	200,000	
		施設整備等支出計(5)	5,840,000		100,000	5,740,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 5,760,000		△ 100,000	△ 5,660,000	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	500,000			500,000	
		修繕積立資産取崩収入	500,000			500,000	
		その他の活動収入計(7)	500,000			500,000	
	支出	積立資産支出	700,000		350,000	350,000	
		退職給付引当資産支出	700,000		350,000	350,000	
		その他の活動支出計(8)	700,000		350,000	350,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 200,000		△ 350,000	150,000	
予備費支出(10)							
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			1,046,000	1,154,000	△ 2,980,000		2,872,000

前期末支払資金残高(12)	77,320,268		36,229,740	41,090,528	
当期末支払資金残高(11)+(12)	78,366,268	1,154,000	33,249,740	41,090,528	2,872,000

一年間の活動日誌
2025年4月1日～2026年3月31日

法人本部の活動



4
- 21　将来構想プロジェクト①
- 26　会報発送〈No.199〉
- 28　法人事務局①

5
- 26　法人事務局②

6
- 7　理事会①
- 16　将来構想プロジェクト②
- 22　評議委員会①理事会②
- 28　会報発送〈No.200〉

7
- 28　法人事務局③
- 30　将来構想プロジェクト③

8
- 20　会計士来所
- 24　会報発送〈No.201〉
- 25　法人事務局④

9
- 8　法人事務局⑤
- 12　コンサートプロジェクト①
- 16　法人事務局⑥
- 20　理事会③

10
- 3　将来構想プロジェクト④
- 24　会計士来所
- 25　会報発送〈No.202〉
- 2024年度年次レポート発行
- きょうだいの会
- 27　法人事務局⑦
- 29　将来構想プロジェクト⑤

11
- 1　将来構想拡大プロジェクト
- 17　法人事務局⑧
- 22　理事会④
- 28　会計士来所

12
- 15　法人事務局⑨
- 16　将来構想プロジェクト⑥
- 20　会報発送〈No.203〉
- 26　会計士来所
- 27　冬休み（～1/4）

1
- 10　それはおしゃれなコンサート
- 於：くすのきホール「トクマルシューゴさん」
- 18　理事会⑤
- 30　会計士来所
- 将来構想プロジェクト⑦
- 法人事務局⑩

2
- 7　第３０回「餅つき会」
- 28　会報発送〈No.204〉

3
- 12　会計士来所
- 13　将来構想プロジェクト⑧
- 15　理事会⑥
- 28　評議委員会②

しごと場大好き



4
- 2　職員会議
- 7　令和７年度通所式
- 10　下半期ボーナス支給
- 年間皆勤賞表彰
- 14　手洗い講習会・メンバー会議
- リスクマネジメント委員会
- 15　理学療法士来所
- ドクターの健康チェック
- 21　音楽療法
- 26　ファミリー
- 28　大好き市準備・言語聴覚士来所
- 29　第４６回「大好き市」
- 30　大好き市代休

5
- 7　職員会議
- 11　親子まつり出店
- 15　みんなを守ろう委員会
- 17　パルコ前販売会(･18日)
- 19　仙川劇場「インクルーシブシアター」参加
- 20　理学療法士来所
- 21　調布特別支援学校職業体験①
- ケース会議
- 24　ファミリー
- ほりで～ぷらん
- 25　「CLASWELL仙川」出張販売
- 26　グループ活動・言語聴覚士来所
- 内部研修：「吐しゃ物講習会」①
- 28　調布特別支援学校職業体験②

6
24 ドクターの健康チェック
2 内部研修：「吐しゃ物講習会」②
3 職員会議
6 調布市作業所等連絡会主催「運動会」
杜のマルシェ出品
7 ふじみプラザ祭り出店
9 音楽療法
12 たづくりまつり参加(～15日)
13 たづくりまつり組紐実演
16 避難訓練
17 理学療法士来所
18 ケース会議・フードドライブ参加
19 内部研修：みんなを守ろう委員会主催
21 味スタ感謝祭出店
23 グループ活動・言語聴覚士来所
28 ファミリー・ほりで～ぷらん
30 メンバー会議

8
1 杉森祭り出店(・2日)
2 「ｸﾚｽﾄﾝﾎﾃﾙﾁｬﾘﾃｨｶﾚｰ」プリン出品
4 しごと場大好き「夏祭り」
5 サマーボランティア受入れ(･19日)
6 職員会議
10 市制７０周年ＦＣ東京イベント出店
夏期特別体制（～17日）
18 メンバー会議
19 東京都社会福祉協議会研修参加
23 ファミリー
25 音楽療法
28 ケース会議

10
2 パラアート展（～8日）
4 彩咲祭出店
8 職員会議
10 上半期特別ボーナス支給
12 多摩川住宅児童館まつり出店
18 パルコ前販売会（・19日）
19 緑ヶ丘児童館祭り出店
20 音楽療法
けやきの森学園実習生受入れ（～31日）
25 ファミリー・「パルコマルシェ」出店
26 わくわく広場まつり出店
28 パルコ芸術祭展示（～11/4日）
理学療法士来所
29 八雲台小学校学童クラブ出張販売

12
2 インフルエンザ予防接種
3 職員会議
6 福祉まつり出店
8 社会体験活動（買い物）
9 臨時ケース会議
10 冬期ボーナス支給
交換研修：すまいる
13 新ジャイアンツ球場お披露目イベント出店（・14日）
15 音楽療法
17 ケース会議
20 ファミリー
22 クリスマス会
23 理学療法士来所
24 サービス管理責任者研修：１名参加
27 冬休み（～1/4）

2
2 生け花講習会（講師：国際ソロプチミスト東京-調布）
スポーツやってみよう参加
4 職員会議
9 言語聴覚士来所
スポーツやってみよう参加
16 音楽療法
17 理学療法士来所
28 ファミリー

7
2 職員会議
6 北ノ台朝市出店
7 社会体験活動（プール）
10 夏期ボーナス支給
みんなを守ろう委員会
14 社会体験活動（プール）
15 理学療法士来所
けやきの森学園実習生受入れ(～25日)
16 ケース会議
26 ファミリー
28 夏祭り準備
メンバー会議

1 社会体験活動（プール）
9 2 ドクターの健康チェック
3 職員会議
5 非常食試食
8 社会体験活動（プール）
9 けやきの森学園実習生受入れ（～19日）
理学療法士来所
17 支援計画会議①
18 支援計画会議②
20 国領ＹＷＣＡイベント出店
ファミリー
22 慈恵医大実習生受入れ（～26日）
組み紐サークル展参加（～24日）
リスクマネジメント委員会
24 支援計画会議③
25 メンバー健康診断
支援計画会議④
26 個別面談開始
27 桐朋学園文化祭出店（・28日）
29 「スポーツやってみよう」参加
言語聴覚士来所
けやきの森学園実習生受入れ（～10/10日）
慈恵医大実習生受入れ（～10/2日）

11
5 職員会議
10 市役所ロビー展（～14日）
11 ドクターの健康チェック
12 サービス管理責任者研修：１名参加
13 みんなを守ろう委員会
14 リスクマネジメント委員会
17 遠足（多摩動物公園）
18 理学療法士来所
サービス管理責任者研修：１名参加
19 ケース会議
20 デフリンピック出店
内部研修：みんなを守ろう委員会
21 希望の家本場秋祭り出店
22 ファミリー
23 ほりで～ぷらん
北ノ台朝市出店

1
5 仕事始め
7 職員会議
10 市役所ロビー展(～14日)
14 ケース会議
15 通報訓練
みんなを守ろう委員会
19 成人を祝う会
20 理学療法士来所
24 ファミリー・ほりで～ぷらん
26 言語聴覚士来所

3
2 令和７年度全体総括会議
4 職員会議
11 支援計画会議①
12 支援計画会議②
14 ほりで～ぷらん
16 クリーンウォーク・パラスポーツ参加
避難訓練
18 支援計画会議③
19 支援計画会議④
23 グループ活動・言語聴覚士来所
メンバー会議・個別面談開始
24 理学療法士来所
28 ファミリー
30 社会体験活動（買い物）

Cafe大好き



4 *ギャラリー企画「しごと場大好き クラフトフェア」*

4　やさしい写真教室
10　下半期特別ボーナス支給
　　年間皆勤賞表彰

5 *ギャラリー企画「ポンテ　ペタペタ展」*

2　やさしい写真教室

6 *ギャラリー企画「がらしゃ　OneFootprint～いぬのあしあと～展」*

9　らっきょう漬け（こぶしの会）
10　カフェＤＡＩＳＵＫＩ29周年ウィーク（～15日）
13　やさしい写真教室

7 *ギャラリー企画「ミックスリーブス　ファブリック小物展」*

4　やさしい写真教室
10　夏期ボーナス支給

8 *ギャラリー企画「しごと場大好き　組み紐作品展」*

1　やさしい写真教室
11　夏季休業（～18日）

9 *ギャラリー企画「ふわーとあーと展」*

5　やさしい写真教室
7　チョークペイントワークショップ①
18　チョークペイントワークショップ②

10 *ギャラリー企画「Ｉｃｈｉｇｏ　アクセサリー雑貨展」*

3　やさしい写真教室
10　上半期特別ボーナス支給

11 *ギャラリー企画「ビーズ展」*

7　やさしい写真教室

12 *ギャラリー企画「ミックスリーブス展」「クリスマスリース展」*

5　やさしい写真教室
6　福祉まつり出店
10　冬期ボーナス支給
13　富士見台小学校まちたんけん受入れ
27　冬季休業（～1月5日）

1 *ギャラリー企画「わーくはうすひこばえ　木工作品展」*

9　やさしい写真教室
10　それはおしゃれなコンサート出店
15　「サイクルマップ」取材

2 *ギャラリー企画「しごと場大好き　ねこまつり」*

6　やさしい写真教室

3 *ギャラリー企画「グループＫｕｉ展」*

6　やさしい写真教室















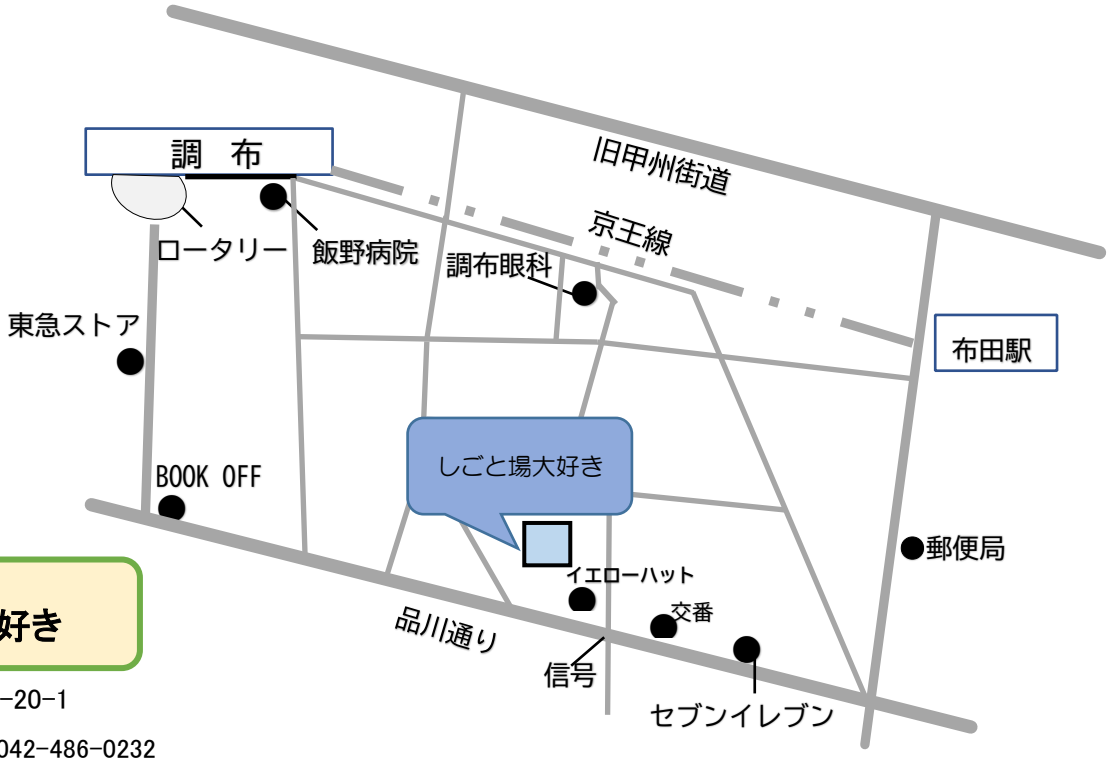
２０２６年度　役員体制

2026年9月現在

役職名	氏　名	所　属　等
理　事　長	原　良男	利用者保護者
理　事	杉本　勝	上布田自治連合会副会長
理　事	増淵　貞夫	利用者保護者
理　事	小山　嘉克	北浦自治会副会長
理　事	山口　祐二	地域福祉関係者
理　事	山本　良子	厚生保護女性会
理　事	亀田　良一郎	「しごと場大好き」施設長
理　事	里見　知俊	利用者保護者
評議員	石井　和男	弁護士
評議員	斎藤　央	調布市作業所等連絡会事務局
評議員	深見　圭子	「しごと場大好き」組み紐講師
評議員	市村　研一	社会福祉協議会職員
評議員	宮崎　豊和	市民有識者
評議員	普後　均	利用者保護者
評議員	清野　豊広	利用者保護者
評議員	三笘　るみ子	利用者保護者（こぶしの会）
評議員	堀内　治子	利用者保護者（こぶしの会）
監　事	大村　洋	地域福祉関係者
監　事	荒川　美由紀	利用者保護者

■事務局スタッフ

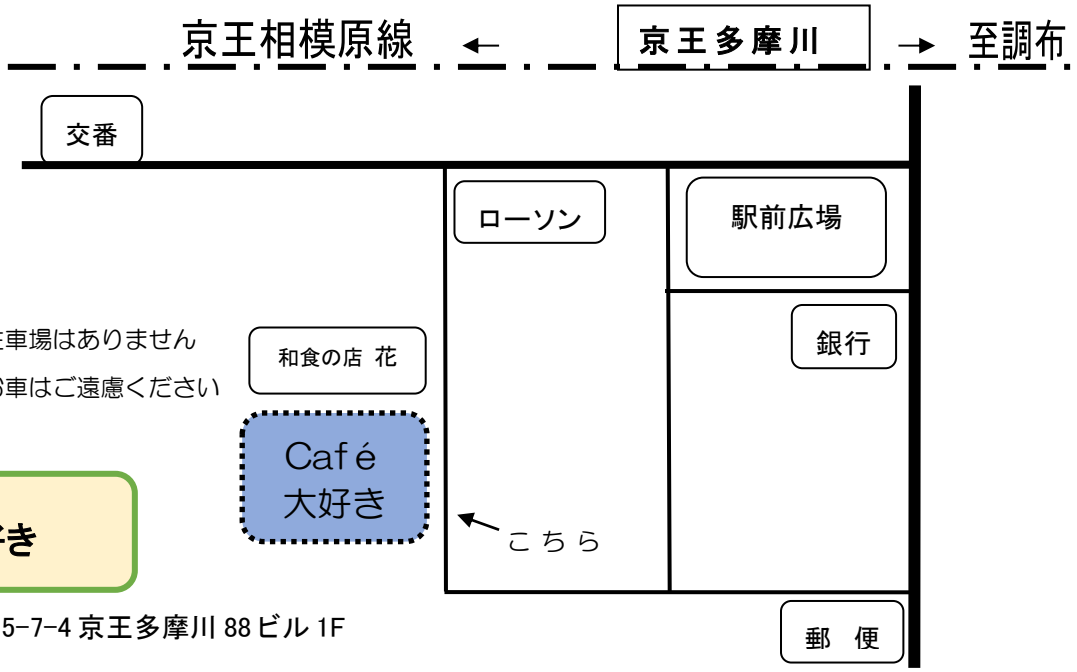
役職名	氏　名	所　属　等
事務局長	内田　喜則	グループホームDAISUKI所長
事務局員	広沢　真	しごと場大好き国領　職員
事務局員	後藤　朋子	しごと場大好き　職員



しごと場大好き

東京都調布市布田 3-20-1

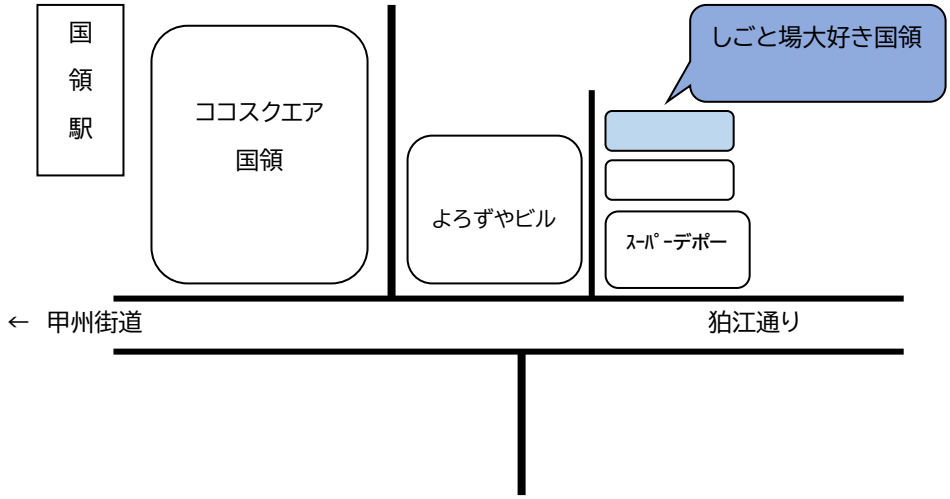
tel042-486-1022　fax042-486-0232



カフェ大好き

東京都調布市多摩川 5-7-4 京王多摩川 88 ビル 1F

tel/fax042-481-3933



しごと場大好き　国領

東京都調布市国領町 3-3-44

tel/fax042-444-3733



２０２６年１０月

社会福祉法人 調布を耕す会

住所 東京都調布市布田3－20－1

TEL 042(486)1022 FAX 042(486)0232

✉ tagayasukaijp@yahoo.co.jp

HP http://www.tagayasukai.com